

### 1. 工法の概要

FRM工法のアンボンドケーブルシステムは、グリース、合成樹脂等で被覆されたPC鋼より線を使用した高耐食性のアンボンドケーブルを使用した定着工法である。

定着具は、コンクリートの設計基準強度が21N/mm<sup>2</sup>以上のものに適用できるように定着性能、耐疲労性能等を考慮して、各種の実験によりその有効性を確認している。

### 2. 定着具

図-1に本工法の緊張端定着具を示す。表-1にキャスティング、グリッパーを、表-2にポケットフォーマーを、表-3にエンドキャップの形状・寸法を示す。

固定端定着具は、シングルストランドケーブルに記載したものと同様である。

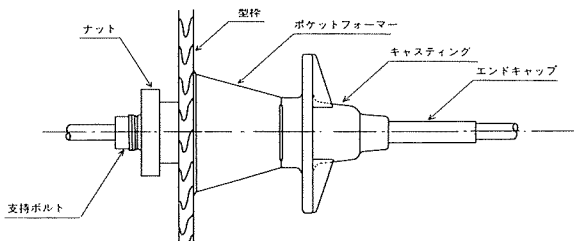


図-1 緊張端定着具

表-1 キャスティング、グリッパーの寸法 (単位:mm)

呼び名	PC鋼より線 (mm)	キャスティング				グリッパー	
		a	b	c	質量(g)	d	e
K-12	12.4, 12.7	130	60	91	1 310	40.0	25.9
K-15	15.2	140	66	95	1 630	45.0	29.9
K-17	17.8	190	90	110	2 480	56.0	36.0

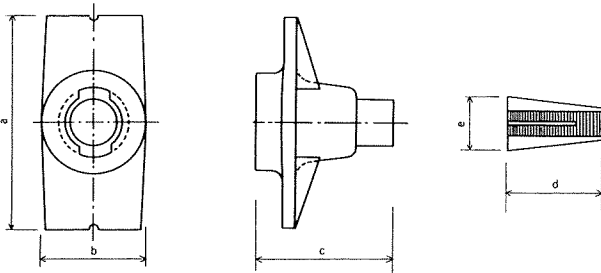


表-2 ポケットフォーマー、支持ボルト、ナットの寸法 (単位:mm)

呼び名	PC鋼より線	ポケットフォーマー		支持ボルト		ナット	
		a	b	c	d	e	f
K-12	12.4, 12.7	108	70	30	140	70	30
K-15	15.2	108	70	30	140	70	30
K-17	17.8	125	75	32	150	70	30

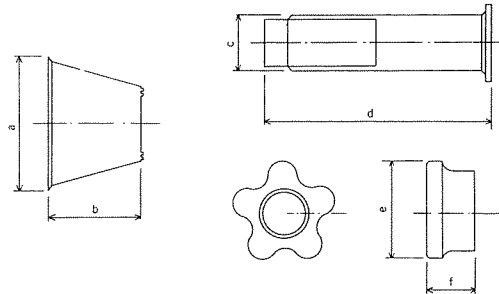
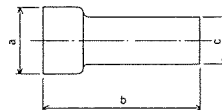


表-3 エンドキャップの寸法 (単位:mm)

呼び名	PC鋼より線	エンドキャップ		
		a	b	c
K-12	12.4, 12.7	32	100	20.5
K-15	15.2	34	100	23
K-17	17.8	37	100	26



### 3. 緊張装置

PC鋼材の緊張に用いるジャッキ・ポンプは、シングルストランドケーブルに記載したものと同様である。

### 4. 備考

本工法の詳細については、FRM工法設計・施工基準の用意がある。